

NEWS Letter



Contents

三遠南信地域連携研究センター	2
2015年度 越境地域政策研究フォーラム	4
2015年度 コア研究会・シンポジウム	5
共同研究(公募研究)	6
2016年度 共同研究公募要領(抜粋)	6
出版物	8
アクセス	8



三遠南信地域連携研究センター



越境地域政策の科学的な確立に向けて

地域政策は、国・県・市町村などの行政区画を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域など越境地域での政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本国内でも市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、閉塞感を持っている従来の行政制度や政策発想に縛られない地域政策の可能性があるといます。

愛知大学は、戦前上海にあった東亜同文書院大学を前身として、1946(昭和21)年に愛知県豊橋市に設立された、地域性と国際性の協調を理念とする大学です。三遠南信地域連携研究センターは、特に愛知県・静岡県・長野県の県境地域である三遠南信地域を対象として、様々な地域研究やGIS(地域情報システム)研究を設立以来推進してきました。2013(平成25)年4月には文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として認定され、国内外の越境地域に関する研究機関との共同研究を促進することによって、越境地域政策における地域データ整備から将来予測、政策合意形成に至る総合的な政策研究を目指しています。



三遠南信地域連携研究センター長
戸田 敏行

■これまでのセンターの取り組み

平成17年度 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業	採択	5年間	「グローバルな視点に立った「地域づくり」 トータルシステムの開発」	研究代表者: 佐藤元彦 経済学部教授
平成22年度 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	採択	3年間	「三遠南信地域における「地域連携型 GIS」の研究」	研究代表者: 蔣湧 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点	認定	6年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授
平成25年度 文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	採択	3年間	「越境地域政策研究拠点」	研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授



三遠南信地域



共同利用・共同研究拠点とは

「三遠南信地域」とは、愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域地域です。愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、これまで進めてきた行政境界を跨いだ三遠南信地域研究、GIS研究実績等が評価され、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に『越境地域政策研究拠点』として、平成25年度から6年間認定されました。

共同利用・共同研究拠点とは、個々の大学の枠を越えて大型の研究設備や大量の資料・データ等を、全国の研究者が共同で利用、共同研究を行うシステムです。国立大学の全国共同利用型の附置研究所等を中心に推進されてきましたが、平成20年7月に学校教育法施行規則を改正し、国公私立大学を通じたシステムとして、文部科学大臣による共同利用・共同研究拠点の認定制度が設けられました。平成27年4月現在、49大学(29国立大学、20公私立大学)99拠点が認定されています。

三遠南信地域連携研究センター



越境地域政策研究拠点の概要

従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的とします。政策手法を構築する越境地域計画コア、政策情報を形成する越境地域情報プラットフォームコア、計量的予測に関する越境地域モデルコアで共同研究を実施し、各越境地域における地域データ整備から将来予測、地域政策合意に至る総合的な越境地域政策研究を促進します。また、国内外の越境地域における地域政策研究機関、研究者等との一般共同研究、地域間交流研究、越境地域基盤研究を行います。

越境地域政策拠点の目的

三遠南信地域における越境地域政策研究を蓄積し、国内外の越境地域とのネットワークを形成してきた愛知大学三遠南信地域連携研究センターを研究拠点とし、全国の県境地域、国外の国境地域における地域政策研究機関との共同研究によって、政策パッケージの構築を目指します。

越境地域政策拠点の必要性

我が国の市町村の約4割は県境に接しており、県境を越えた地域政策の必要性が高くなっています。また、東アジアにおいても国内越境地域・国境越境地域が出現しつつあります。しかしながら、行政境界を跨ぐ(クロスボーダー)越境地域(県境地域、国境地域)には、統一的な政策主体や地域政策データが整備されておらず、我が国や東アジアにおける地域分権の進展を背景として、越境地域政策の重要性が増しています。

三遠南信地域連携研究センターの研究蓄積

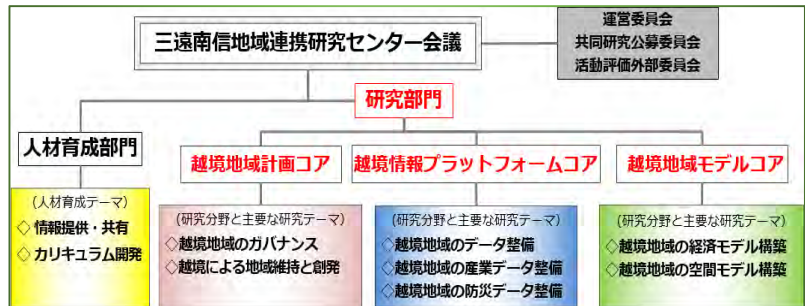
我が国の越境地域政策モデルである三遠南信地域を対象とした ①越境地域計画に関する蓄積、②越境地域の政策データを構築するGIS(地理情報科学)研究の蓄積、③越境地域を統合的に計画する計量モデル手法に関する蓄積を有しています。

越境地域政策研究拠点の体制

■ 3つの研究コア

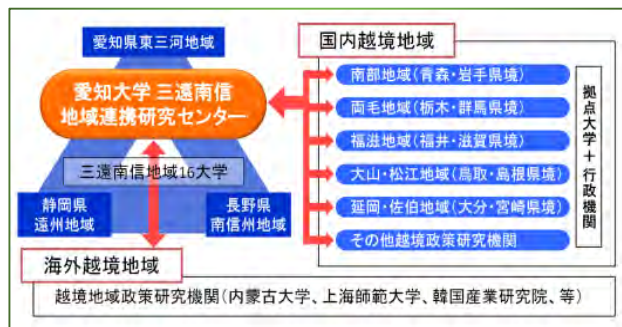
共同研究をとおして、越境地域における地域データの将来予測、地域政策合意にいたる総合的越境地域政策研究を促進します。

- ・越境地域計画コア
- ・越境地域情報プラットフォームコア
- ・越境地域モデルコア



■ 3層の共同研究機関ネットワーク

- ・県境地域「三遠南信地域」を政策実験モデルとして、3層の共同研究機関ネットワークで研究を進めます。
- ・全国県境地域との連携により蓄積してきた国内越境地域研究機関ネットワーク
- ・共同研究を行ってきた東アジアにおける大学等との海外越境地域研究機関ネットワーク
- ・三遠南信地域16大学、シンクタンク等との三遠南信地域研究機関ネットワーク



■ 外部委員(活動評価外部委員会・運営委員・公募委員会)

活動評価外部委員会

大西 隆	日本学術会議 会長 豊橋技術科学大学 学長・教授
村山 祐司	筑波大学 教授
水飽 揚四郎	筑波大学 教授

拠点運営委員会

大貝 彰	豊橋技術科学大学 理事・副学長・教授
川口 宗敏	静岡文化芸術大学 名誉教授
瀬田 史彦	東京大学大学院 准教授
郭 暁川	内蒙古大学経済管理学院 院長・教授
穂積 亮次	愛知県新城市 市長
加藤 勝敏	東三河地域研究センター 常務理事

共同利用・共同研究公募委員会

山崎 寿一	神戸大学大学院 教授
福島 茂	名城大学 副学長・教授
敵 網林	慶應義塾大学 教授

文部科学省 共同利用・共同研究拠点プログラム・アドバイザー

奈良 由美子	放送大学 教授
八田 英二	同志社大学 教授

2015年度 越境地域政策研究フォーラム



2016年2月27日、三遠南信地域連携研究センター主催で越境地域政策研究フォーラムを開催しました。午前は鈴木康友氏(浜松市長)を迎えて「浜松市の地方創生と三遠南信地域」のタイトルで基調講演をいただくとともに、地域間交流研究シンポジウム「大学と地方創生」を行いました。午後は、5つのテーマによる分科会に分かれ、20のタイトルについて活発な発表と質疑応答が行われました。最後に、各分科会の総括がコーディネーターより報告され、交流会では越境地域政策をめぐる各地域・各学問分野における情報交換が行われました。

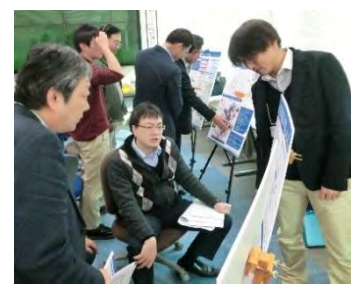
(場所:愛知大学豊橋校舎)

開催趣旨 地域政策は、国・県・市町村などの行政区画を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ異域域や国境地域などの政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本の市町村の約4割が異域域に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を越えて取り組むことによって、従来の行政区画や制度に縛られない地域政策の可能性があると見えます。 愛知大学三遠南信地域連携研究センターは、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として、国内外の越境地域を対象とした政策研究を行っております。その一環として、第3回目となる研究フォーラムを下記の通り開催いたします。越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。	
日時:2016年 2月27日(土) 場所:愛知大学豊橋校舎	
10:00~12:45 講演・シンポジウム (会場:記念会館3F)	
あいさつ 川井 伸一(愛知大学学長) 佐原 光一(豊橋市長)	
■基調講演「浜松市の地方創生と三遠南信地域」鈴木 康友(浜松市長)	
■地域間交流研究シンポジウム 「大学と地方創生」	
パネリスト: 清水 潔 (元文部科学省事務次官、明治大学教授) 大貝 彰 (豊橋技術科学大学副学長・理事) 根本 敏行 (静岡文化芸術大学文化政策学部長・教授) 新井野 洋一(愛知大学地域政策学部長・教授)	
コーディネーター: 戸田 敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)	
14:00~16:30 分科会 (※発表者・観および会場は変更になる場合があります)	
分科会 1	越境地域とガバナンス (会場:記念会館) コーディネーター:戸田敏行(愛知大学) コメンテーター:大貝彰(豊橋技術科学大学) 趣旨:国内異域域および国境地域の政策事例から、行政境界を跨いだ越境地域におけるガバナンス形成の課題と展望を考える。 ・ドイツNW州の広域連携施設レゾナールに見る地域マネジメントの可能性:服部敦(中部大学) ・「新ユーラシア鉄道」の開通に伴う中国の地政学的越境経済連携の現状と課題:池田(内蒙古大学) ・歴史的・地理的条件に着目した越境地域政策の比較研究:上野莉紗(京都大学大学院) ・越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割:谷口庄一(大同大学) ・市町村行政評価BMを活用した越境地域のカバナンス研究:熊倉浩晴(群馬県立女子大学)
分科会 2	越境地域と空間情報 (会場:本館2F) コーディネーター:藤澤(愛知大学) コメンテーター:藤林林(慶応義塾大学) 趣旨:越境地域の情報基盤を考える上で欠かせない、地理学・GIS・シミュレーションなどデータ技術に関する研究成果を報告し、行政境界で分断されやすい情報を補完する可能性について議論する。 ・コンパクトシティを深化させるために必要な視点:稲垣美樹(安城市役所) ・機械学習の手法を用いた人口空間解析:澤田貴行(愛知大学) ・三遠南信地域産業連関表を用いた空間経済分析に関する研究:湯澤博幸(豊橋技術科学大学) ・最新VR/AR技術を用いた防災情報の3次元可視化:坂宮朋基(愛知工科大学)
分科会 3	越境地域と経済 (会場:本館5F) コーディネーター:駒本伸比呂(愛知大学) コメンテーター:近藤雄夫(愛知大学) 趣旨:産業・経済分野において海がもたらした行政境界を越えた連携の現状、課題について、経済学、経営学、地理学などの視点から明らかにするとともに、今後の政策展開へのアイデアや議論を深める。 ・遠州灘沿いにおける復興デザインのための「災害対応の素地」に関する研究:窪田亜矢(東京大学)・萩原拓也(日本設計) ・人口減少時代のコンパクト都市圏における越境のサブセンターの地理学的研究 ・久保倫子(岐阜大学)・阿部亮吾(愛知教育大学)・林穂也(岐阜大学)・田中健作(豊田高専) ・三遠南信地域の新産業創出に向けた広域的な振興施策に関する研究:加藤勝敏(東三河地域研究センター) ・タイプラスワンとGMS異域域開発に関する研究:名和聖高(愛知大学)
分科会 4	越境地域と人材育成 (会場:本館5F) コーディネーター:若崎正弥(愛知大学) コメンテーター:藤久好(愛知大学) 趣旨:流動性の高い人材に着目し、家族ネットワークや交流・移住なども含めて「人材育成」の仕掛けや仕組みの現状を見直し、越境地域政策の可能性を検討する。 ・農山村集落の生活を支える地域外家族のネットワークの状況:菅井一伸(鳥取大学) ・信越東海地域の地域づくりに向けた人材育成プラットフォームの構築に関する研究:内海巖(上越市創造行政研究所) ・都市との交流を通じた人材育成:藤正三(地域問題研究所)
分科会 5	越境地域と歴史・文化 (会場:本館5F) コーディネーター:和田明美(愛知大学) コメンテーター:北川和秀(群馬県立女子大学) 趣旨:道と越境をテーマに、歴史・地理・民俗・文学の視点から地域政策を捉えなおすと同時に、新たなアプローチの方法を探り、今後の越境地域政策の可能性を明確にする。 ・伊場遺跡(浜松市)の刻木書簡:大綱盛(博士(言語学)) ・古代・中世東海道のみどころの跡(豊橋市)ー東西の国境・越境地域と古典文学ー:和田明美(愛知大学) ・秋葉道を迂回した江戸の旅人ー秋葉山信仰の高まりー:渡辺和敏(愛知大学) ・中央構造線を核とした越境地域ネットワーク:藤田佳久(愛知大学)
17:00~19:00 総括報告会・交流会 (会場:造道館2F(生協))	



越境地域政策研究フォーラム

文部科学省共同利用・共同研究拠点「越境地域政策研究拠点」(2015年度) 愛知大学三遠南信地域連携研究センター



◆お問い合わせ先
愛知大学
三遠南信地域連携研究センター
〒441-8522
愛知県豊橋市町畑町1-1
TEL:0532-47-4157
FAX:0532-47-4576
E-mail:sen-center@ml.aichi-u.ac.jp



2015年度コア研究会・シンポジウム



第11回コア研究会

開催日：2016年1月28日(木)

テーマ：「3DGISと3Dプリンターの活用可能性」

内容：

■講演：「3DGISとCityEngine」

丹羽 雄輔 氏(ESRIジャパン)

■報告・実演：「3Dプリンターの導入」

湯川 治敏 氏(愛知大学地域政策学部教授)

■意見交換：コーディネーター 蔣 湧 氏(三遠南信地域連携研究センター越境地域情報プラットフォームコア責任者)

第12回コア研究会

開催日：2016年2月29日(月)

テーマ：「越境地域における持続可能な地域発展に関する研究」

研究発表：

「新産業革命の影響下の資源産業の持続的な成長に関する研究」

郭 暁川 氏(内蒙古大学経済管理学院教授)

「中国の乳製品企業の持続可能性に関する研究」

銭 貴霞 氏(内蒙古大学経済管理学院教授)

「産業の空間的な分布および変遷の表現に関する研究」

張 启鋒 氏(内蒙古大学経済管理学院講師)

「中山間地域地方創生の課題に向き合う - 東栄町を事例に」

蔣 湧 氏(三遠南信地域連携研究センター越境地域情報プラットフォームコア責任者)

第13回コア研究会

開催日：2016年3月18日(金)

テーマ：「マイクロジオデータを用いた空き家推計に関する研究」

発表者：秋山 祐樹 氏(国土交通省国土交通政策研究所研究官、
東京大学空間情報科学研究センター特任助教)

シンポジウム／地域間交流研究

開催日：2015年10月30日(金) 開催日：2016年2月16日(火)-17日(水)

主催：大同大学 主催：上越市創造行政研究所
(申請代表者：谷口 庄一) (申請代表者：内海 巖)

再構築・経済圏地域の伝統的産業のライブ中継ネットワーク化における需要と供給

越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割

2015年10月30日(金)
13:30~16:00 会場 13:00

虎ノ門一宮前ビル(17F) 大同大学校舎
〒100-8305 東京都千代田区千代田1-1-1

ケーブルテレビの活用による地域活性化の推進、大規模な地域情報共有化の推進、地域情報共有化の推進による地域活性化の推進

基調講演
「県境を超える地域づくりの展望」
戸田 敏行
東京大学空間情報科学研究センター長

パネルディスカッション
コーディネーター：蔣 湧 氏(三遠南信地域連携研究センター越境地域情報プラットフォームコア責任者)
参加費：無料

シンポジウムの問い合わせ先 TEL0590-287270(携帯・FAX)

信越県境 地域づくり交流会 2016

日時・会場 平成28年2月16日(火)-17日(水)
16日 13:30~15:00 会場 13:00
17日 10:00~12:00 会場 10:00
〒950-8501 新潟県上越市上越1-1-1
上越市創造行政研究所 2F 会議室

定員 100人(先着順)
参加費 | 無料 (交通費・宿泊費は別)

主催 | 上越市創造行政研究所

基調講演「県境を越える地域づくりの展望」：戸田 敏行 (センター長)

ディスカッション「信越県境の地域特性と交流・連携の可能性」
アドバイザー：戸田 敏行 (センター長)

人材育成部門主催シンポジウム

開催日：2016年2月11日(木)

テーマ：「中山間地域における移住者の受け入れと仕事の創出」

内容：

■基調講演：「移住者の地域起業による農山村再生」

佐久間 康富 氏(大阪市立大学大学院工学研究科講師)

■現場報告～移住者と受け入れ地域～

・東三河エリア

受入側：東栄町古戸地区 古戸ひじり会会長 初澤 宣亮 氏

移住起業家：ちゃちゃカフェ 宮田 良子 氏

・遠州エリア

受入側：天竜区春野町砂川地区 八蔵園 鈴木 嘉津雄 氏

移住継業・起業家：茶園・茶業 宇野 大介 氏

・南信エリア

受入側：売木村(有)ネットワークうるぎ取締役 後藤 俊文 氏

移住継業・起業家：カフェ&素泊まりの宿ポレポレ、
有機農園 遠山 政良 氏

■フロアとの意見交換会

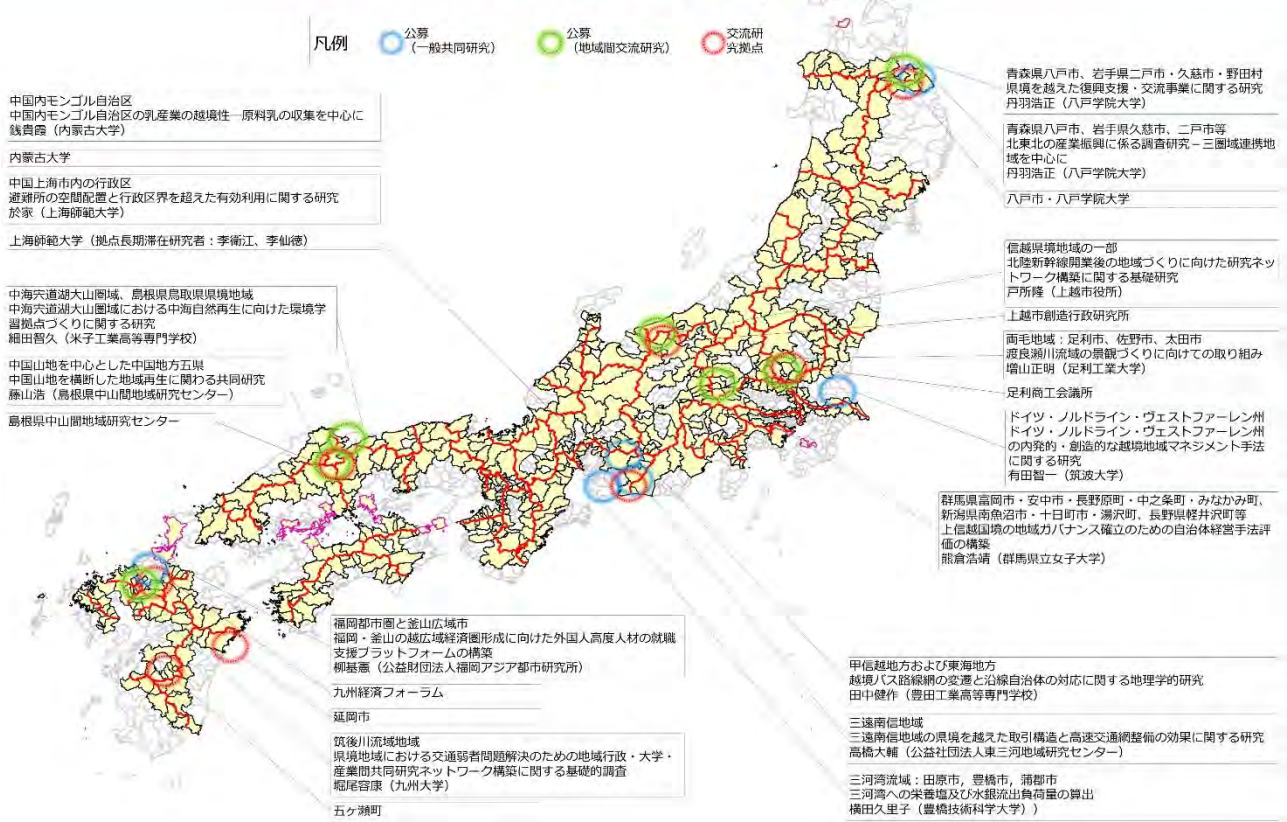
コーディネーター：岩崎 正弥 氏(三遠南信地域連携研究センター
人材育成部門責任者)、

黍嶋 久好 氏(三遠南信地域連携研究センター
研究員)



共同研究（公募研究）

越境地域政策研究拠点の体制（全国越境地域）



2016年度 共同研究公募要領（抜粋）

一般共同研究

- 研究内容／一般共同研究者は、全国の研究者を対象に、特定の越境地域において、以下の越境地域政策に関する研究課題（課題研究、自由研究）を対象とします。

課題研究	1.越境地域のガバナンス形成 2.越境地域のリスク管理 3.越境地域の産業経済連携 4.越境地域の生活環境形成 5.越境地域の情報基盤整備
自由研究	越境地域政策に関する研究課題を自由に設定

- 申請対象者／大学およびその他研究機関等に所属する研究代表者と、共同研究者もしくは協力者を加えて2名以上で構成されているもの（大学院生が申請する場合は1名でも可、ただし指導教員の推薦状が必要）。

- 募集件数／数件
- 研究費／1件50万円程度（大学院生は20万円程度）
- 申請期間／2016年3月15日（火）～ 4月30日（土）必着
- 採択通知／2016年5月下旬
- 研究期間／2016年5月下旬～ 2017年3月末

地域間交流研究

- 研究内容／地域間交流研究は、越境地域政策研究の基盤づくりを目的として、特定の越境地域（国内・国外）における産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流事業を中心とします。

- 申請対象者／越境地域政策に関与する、もしくは関与が想定される研究者、行政関係者、経済団体、NPO関係者など。申請者を含めた産・官・学の複数名からなるグループで実施すること。シンポジウム、フォーラム、セミナー、ワークショップ、研究会等、越境地域政策のための研究交流を開催し、その成果を、愛知大学三遠南信地域連携研究センターにおいて報告・発表できるもの。

- 募集件数／数件
- 研究費／1件50万円以内
- 申請期間／2016年3月15日（火）～ 4月30日（土）必着
- 採択通知／2016年5月下旬
- 研究期間／2016年5月下旬～ 2017年3月末

共同研究（公募研究）

越境地域政策研究拠点は、国内・国外の越境地域における地域政策研究機関との共同研究、地域間の研究交流を行うことによって、従来の地域政策で対応されなかった県境地域・国境地域などの行政境界を跨ぐ越境地域政策の科学的な確立を目的としています。

本センターでは、同拠点事業として、共同研究の質的向上と研究参加の拡大にむけ、共同研究を公募します。2015年度は「一般共同研究」と「地域間交流研究」について助成しています。

2015年度「一般共同研究」採択一覧

	2015-001	2015-002	2015-003	2015-004
研究テーマ	歴史的・地理的条件に着目した越境地域政策の比較研究	市町村行政評価BMを活用した越境地域のガバナンス研究 — 上信越国境地域および三遠南信地域を核に —	遠州灘沿いにおける復興デザインのための「災害対応の素地」に関する研究	農山村集落の生活を支える地域外家族のネットワークの状況に関する調査
研究対象地域	環霧島地域・三遠南信地域	上信越国境地域および三遠南信地域	遠州灘およびその後背地域、堀切・新居・御前崎	愛知県北設楽郡豊根村
申請代表者	上野 莉紗	熊倉 浩靖 共同申請者14名	窪田 亜矢 共同申請者1名	筒井 一伸 共同申請者2名
所属機関	京都大学	群馬県立女子大学	東京大学	鳥取大学

	2015-005	2015-006	2015-007
研究テーマ	越境地域の産業経済連携	三遠南信地域間産業連関表を用いた空間経済分析に関する研究	人口減少時代のコンパクト都市圏における越境的サブセンターの地理学的研究
研究対象地域	三遠南信地域	三遠南信地域	岐阜市を中心とした周辺圏域
申請代表者	佐藤 克彦 共同申請者3名	渋澤 博幸 共同申請者2名	久保 倫子 共同申請者4名
所属機関	東三河地域研究センター	豊橋技術科学大学	岐阜大学

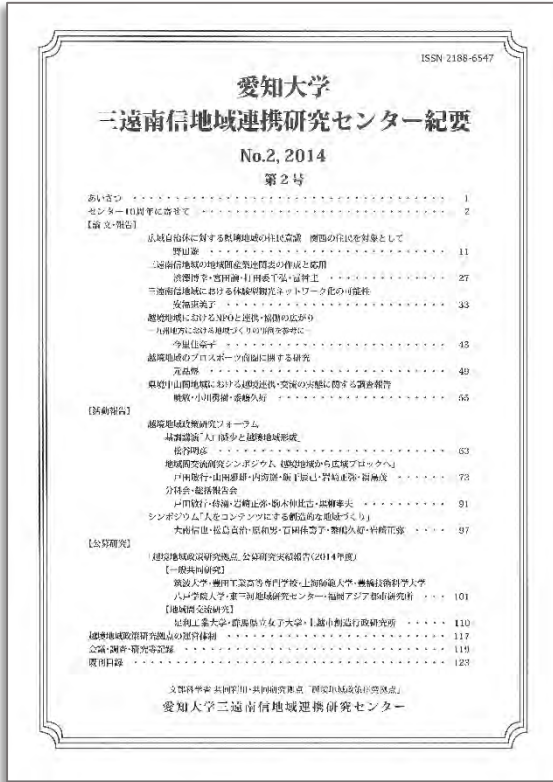
2015年度「地域間交流研究」採択一覧

	2015-001	2015-002	2015-003	2015-004
研究交流テーマ	信越県境地域の地域づくりに向けた人材育成プラットフォームの構築に関する研究	越境地域情報共有化とケーブルテレビの役割 — 西尾張・岐阜市地域の伝統的祭事のライブ中継ネットワーク化における意義と展望 —	九州県境地域の交流促進について	「新ユーラシア鉄道」の開通に伴う中国国内の地域間連携に関する研究
研究対象地域	新潟県上越・十日町・魚沼地域の一部、長野県北信地方の一部	一宮市、稲沢市、津島市、岐阜市	九州各県の越境地域	中国内蒙古自治区・遼寧省・河北省の省境地域
申請代表者	内海 巖 共同申請者3名	谷口 庄一 共同申請者2名	高橋 大輔 共同申請者2名	曉 敏 共同申請者3名
所属機関	上越市創造行政研究所	大同大学	東三河地域研究センター	中国内蒙古大学

出版物

■紀要

愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要
第2号を刊行しました。



■ブックレット

2015年1月31日開催のシンポジウム
『人をコンテンツにする地域づくり』を記録したブックレットを
刊行しました。



アクセス

■愛知大学豊橋キャンパスまでのアクセス



■愛知大学豊橋キャンパスマップ



■お問い合わせ先

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1
TEL 0532-47-4157 FAX 0532-47-4576
URL <http://www.aichi-u.ac.jp/san-en/>